

---

# Lost man

村雲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Lost man

### 【コード】

N6663G

### 【作者名】

村雲

### 【あらすじ】

本当に大切な人を、大切に想えるように。

(前書き)

歌詞として作ったので読みにくい部分が多々あると思います。  
ご了承くださいませ(´ー`)m

いつも“おやすみ”を言う時は  
僕が眠りにつく時じゃなかったよ  
いつも“おはよう”を言う時は  
僕が瞼を上げる時じゃなかったよ

悲しみを悲しみと捉えることを  
教わっても誰もそうはしなかった  
痛みと悲しみと苦しさで涙は出ると  
教わっても誰もそれだけじゃなかった

小さな矛盾だけど考えたら大ゴトで  
四月のはじめに嘘をつく理由と当て嵌めた  
些細な視線が気になるのと同じことで  
考えれば考えるほど鼓動のリズムに辿り着く

この流れる炎が消えると  
僕の命の終わりが来ると聞いたけど  
けどきつとそれも違くて  
僕が僕で在ることを諦めた時に  
流れる炎も意味を失くすんでしよう

本当の正しさが在るなら僕にもそれを教えてよ  
本当の正しさも嘘なら僕が知る前に炎を消してよ

いつも“ありがとう”を言う時は  
本当にありがたいと思う時だったのかな  
いつも“ごめんね”を言う時は

本当に僕が悪いと思う時だったのかな

寂しさを寂しさと捉えることを  
教わっても誰もが孤独を望んでる  
この胸の奥が軋む音を例える言葉を  
教わっても誰も説明できなかった

大きな心を持てたらこんなことは意味なくて  
笑えば治まると知っても僕は悩み続けた  
下る思考に終わりを与えれば良かったって  
思えば思っほど届かない歌に辿り着く

絶対の間違いが在るなら僕にもそれを教えてよ  
絶対の間違いも言えないなら僕が犯す前に炎を消してよ

空を見上げればこんなことはちっちゃなことで  
誰かの誕生を祝う“当たり前”と当て嵌めた  
理解できないから僕は多分生きてゆけるんだろっな  
考えれば考えるほど心臓の叫びに辿り着く

この流れる炎が消えると  
僕の命の終わりが来ると聞いたけど  
けどきつとそれも違くて  
僕が僕で在ることを諦めた時に  
流れる炎も意味を失くすんでしよう

本当の正しさが在るなら僕にもそれを教えてよ  
本当の正しさが在るなら僕が死ぬ前に教えてよ  
本当の理解ができるなら僕はわかり合うことを恐れたりはしない  
本当の本当に大切な人を大切に想えるように



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6663g/>

---

Lost man

2010年10月29日01時33分発行